

1 学校教育目標

○やさしい子 ○考える子 ○つよい子 ○はたらく子

2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	<ul style="list-style-type: none"> ・児童にとって「楽しいと感ずることが出来る学校」(わかる・できる・うれしい・つながる) ・保護者や地域にとって「信頼出来る学校」(安全・安心・健全) ・教職員にとって「はたらきがいのある学校」(切磋琢磨・資質向上・充実感・達成感)
○児童・生徒像	<p><かしこく> ・基礎学力が身に付いた児童(様々な知識・技能、聞く・話す・読む・書く・計算する力)</p> <p>・確かな学力が身に付いた児童(思考力・判断力・表現力・コミュニケーション力・行動力・ICT活用力、学ぶ意欲など)</p> <p><やさしく> ・場に応じた言葉遣いのできる児童(あいさつをする・言葉遣いに気をつける)</p> <p>・自分も人も大切に出来る児童(自信をもつ・人と関わり合う・人を思いやる心・自然に親しむ)</p> <p><たくましく> ・よりよい生活習慣を身に付けた児童(心身の健康を保つ・安全な生活を送る・明るく生活する)</p> <p>・自ら体を動かし体力の向上に努力する児童(進んで遊ぶ、体を動かす、運動する)</p>
○教師像	<ul style="list-style-type: none"> ・変化を感じ取り、時代を見通した対応が出来る資質・能力を身につけた教師 ・チームで協働し、課題を乗り越えていく教職員集団 ・学習指導力、児童理解力、生活・進路指導力、外部との連携・折衝力、学校運営力・組織貢献力

3 学校の現状及び前年度の成果と課題

【学校の現状】

- 児童について コロナ禍も明け、明るく元気に学習や活動をする児童と一部にはコロナ禍のため安定した登校が出来ずに学習の定着や登校習慣に課題がある児童の両面が見られる。ICT機器の活用は1～6年生まで、発達段階に応じた活用ができています。AIドリルや授業や児童の学校生活に大きな変化を与え、多くの児童が学習導具として使うことが出来ているが、タイピングなどに熱中するあまり読書など文章をじっくり読む機会が減っていることが課題となっている。読書活動の充実や個に応じた指導で基礎学力を定着させること、他者とかかわる学習や体験的な活動の充実、仲間と協力したり、多様な運動に親しんだりする経験等を今年度は工夫して取り組み、児童に生きる力を付けていく。
- 教師について コロナ禍の中でも、教育活動を徐々に通常に戻しつつ、ICT機器の活用等新たな課題にも適応しながら、真摯に教育活動に取り組んできた。また、80周年を始めとした学校行事も時代や状況に合った方法を考え、昨年度より工夫して実施してきた。変化の激しい時代だからこそ、大切なものと変化させるものをしっかり協議し、計画的に教育活動を進める努力をしている。教職員のライフワークバランスを考慮しながら、より価値のある教育活動を推進していきたい。
- 保護者・地域について 昨年度は80周年の節目であり、PTA・地域の皆様のご協力のもと、児童とともに祝うことが出来た。また児童や学校へ記念品をいただき、大いに活用させていただいている。年度後半は音楽会や卒業式など学校行事にも少しずつ招待する機会も増えた。今年度は昨年度以上に連携して様々な事業に取り組んでいきたい。コロナ禍であっても、児童の登校の見守りや読み語りの工夫した実施等、本当に感謝している。地域清掃など、児童の活動で恩返しをしていきたい。

【前年度の成果と課題】

重点的な取組事項－1 学力向上

・4月区調査通過率 **国語 87.9%、算数 89.9%** 平均 88.9%。国語はほぼ達成、算数は目標を上回った。算数では2学年が区平均を下回っているため、

習熟度別指導のじっくりコースの指導を確実にいき、つまずきのフォローも早期に行っていく。2月予備調査通過率は**国語 84.8%、算数 76.2% 平均 80.5%**で国語は大きく目標を上回った。

- ・アクションプランに示した4項目は、**◎：十分達成が1項目、○：おおむね達成が2項目、△：もう少しが1項目**であり、学力向上に関しては一部（読書活動の充実）に課題が残った。読んだ本の冊数の記録が正確でないため、平均冊数が低くなっている。
- ・今年度の校内研究の視点として、「自由進度学習」を発達段階や学級の実態に応じて取り入れていく。一斉授業、自由進度学習それぞれ長所を生かし、タブレットを効果的に活用しながら自ら課題に向かい主体的に解決する資質・能力を育成していく。

重点的な取組事項－2 豊かな心

- ・児童の豊かな人間性の育成を目指した4項目の取組は、**◎：十分達成が1項目○：おおむね達成が3項目**であり、おおむね達成できたと考える。・あいさつや廊下歩きなど、長年の課題については、できるようになってきた児童は年々増えていると感じるが、児童自身の自己評価は意外と厳しい。来年度は、学校の決まりだから行う・・・ではなく、より主体的な行動ができるように、各学級で具体的な取り組み策を考え、実施していく。
- ・SDGsを意識した取組みとして、学校や西新井周辺の清掃活動「くりっこ清掃」、エコキャップ・アルミ缶回収や能登半島地震募金等、環境や苦難に直面している人への支援を積極的に行うことができた。

重点的な取組事項－3 たくましい体

- ・自らの健康と体力の向上を目指す児童の育成を目指した3項目の取組は、**○：おおむね達成が3項目**であり、おおむね達成できたと考える。
- ・今年度よりスタートした「運動すてっぷカード」により、一輪車、竹馬、鉄棒、登り棒、バスケットボール、ドッジボールで遊ぶ児童が増えた。加えて大谷グローブの登場と学校でもグローブを追加購入したことでキャッチボールをする児童も増え、休み時間には常に100人以上が寒さに負けず校庭で元気に遊んでいる。一部の児童は教室に残りがちなので、日向ぼっこや散歩など無理のない範囲で外で過ごすよう促している。
- ・食育については、ベジファーストを毎日の「いただきます」のあいさつに入れ啓発しているが、野菜嫌いの児童はわかっても野菜を後回しにして最後に食べるため、なかなか実行することができない。児童の気持ちを大切にしながら、引き続き啓発を図っていく。また、SDGsの観点から、残菜をできるだけ出さないようにしようとする児童が多く、残菜率は今年も1%を切っている。

4 重点的な取組事項

	内 容	実施期間（年度）				
		R4	R5	R6	R7	R8
1	学力向上アクションプラン	○	◎	◎	◎	◎
2	豊かな心の育成	○	○	○	○	○
3	たくましい体の育成	◎	○	○	○	○

5 令和5年度の重点目標

重点的な取組事項－1		学力向上アクションプラン			
A 今年度の成果目標	達成基準 (目標通過率)	実施結果 (通過率結果)	コメント・課題	達成度 ◎○△●	
<ul style="list-style-type: none"> ・4月実施の足立区学力向上に関する総合調査結果の目標達成 ・2月の予備調査結果の目標達成 	<ul style="list-style-type: none"> ・4月本調査 通過率 国語88%算数88% ・2月予備調査 通過率 国語78%算数78% 				

B 目標実現に向けた取組み									
新・継	アクションプラン	対象・実施教科	頻度・実施時期	具体的な取り組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認方法	達成目標(=数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●
1 継続	全校百マス計算大会	全学年算数	2か月に1回程度	【指導者体制】担任+専科 【取組のねらい・目的】 基礎学力の定着 朝パワーアップ時	・標準タイムの達成率	・年間6回実施 ・標準タイム80% ・未達成児童で記録が伸びた80%			
2 継続(一部新規)	I C T 教育の推進	全学年全教科	通年	【取組のねらい・目的】 I C T機器を活用し、わかりやすい授業、主体的に学ぶ授業等を行う。 ①G・Workspaceで授業 ②A Iドリルの活用 (朝、授業、補習、宿題)	①②③ 実施回数	①ICTを使って調べ学習ができる アンケート90% ②G・Wの授業 2年以上週3回 ③AIドリル週3回			
3 継続(一部新規)	読書活動の充実	①読語り(全) ②読書旬間(全) ③読書タイム(全) ④図書館の活用	①4月から ②年2回設定 ③通年 ④通年	【指導者体制】 ①図書ボランティア ②担任、保護者 【取組のねらい・目的】 ①②③読書習慣の定着。 日常的に本や文章に慣れ親しむ機会を作る。 ④資料活用能力の育成	①②③ ・児童アンケート ・読書冊数 ④活用回数	①②③ ・読書は好きか 読書は大切か 児ア85% ・1か月に2冊以上本を読む児ア70% ④低・中：週1回 高：月2回			
4 継続(一部新規)	授業改善	①思考ツール ②足立スタンダード ③教科担任制 ④デジタルノート ⑤自由進度学習	①②③④ 通年 ⑤適宜	【取組のねらい・目的】 ①思考を発散し、まとめるスキルを身につけ、話し合い活動を充実させる。 ②めあて→振り返り・まとめの質の向上 ③高学年の理科・社会・外国語・体育等で実施 ④高学年一部教科で導入 ⑤学年の発達段階や教科・単元の内容等によって計画、実施する。	①授業での活用回数 ②③④アンケート ⑤授業での実施回数	①思考ツール 低中：月1回 高：月2回 ②めあて・まとめ わかった児ア90% ③授業がわかった 児ア90% ④デジタルノート 児ア90% ⑤自由進度学習で行った単元 低：3中：5高：10			

重点的な取組事項－２		豊かな心の育成			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
児童の豊かな人間性を育成		目標実現に向けた取組の実施結果が、4項目とも「おおむね達成」以上			
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
あいさつの励行	<ul style="list-style-type: none"> 「学校で場面に合わせて『おあしすはさいこうよ』のあいさつができた」 児ア 90% 	<ul style="list-style-type: none"> あいさつ強化週間における各学級での取り組み 児童によるあいさつ運動 場や状況に応じたあいさつ（アイコンタクト、会釈等） 			
人や環境とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> 「友達を大切にできた」 児ア 95% SDG s の理解や関心について 児ア 90% 	<ul style="list-style-type: none"> 人権教育、道徳教育の充実 感謝の手紙（2月） SDG s に関わる単元を総合等で設定し実施。 ユニセフ募金、エコキャップ、アルミ缶、地域清掃、リサイクル活動等への参加 残菜削減や節電等への取組 			
安全で美しい学校	<ul style="list-style-type: none"> 「廊下を走らないように気を付けて歩いた」 児ア 80% 「学校や学級のものを大切に使った」 児ア 90% 「ゴミや落し物に気を付けて生活した」 児ア 80% 	<ul style="list-style-type: none"> 廊下歩き強化週間での各学級の取組の実践 毎月の安全点検 栗原スタンダードの徹底 多様な想定避難訓練 東京マイタイムライン作成 			
いじめ防止 不登校への早期対応	<ul style="list-style-type: none"> いじめ解消率 100% 不登校 0% 「栗原小学校は楽しい」アンケート 95% 	<ul style="list-style-type: none"> QU調査の2回実施、分析 毎週いじめ防止全体会実施 年2回教育相談全体会実施 週2回子ども相談日設定 人権標語、いじめ撲滅標語 ふわふわ言葉の推奨 在籍学級と特支教室の連携 不登校児童へのICT機器を活用したサポート 			

重点的な取組事項－3	たくましい体			
A 今年度の成果目標	達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
自らの健康と体力の向上を目指す児童の育成	目標実現に向けた取組の実施結果が、3項目とも「おおむね達成」以上			

項目	達成基準	具体的な方策	実施結果		
体育授業・体育的活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> 「好きな運動3つ以上」 児ア 93% 「好きな運動が0」 児ア 0% 「体育の授業が楽しい」 児ア 90% 	<ul style="list-style-type: none"> ・体育科授業での環境設定の工夫（場、用具、ルール等） ・栗原タイムの計画的実施 ・オリパラ教育の継続 ・運動環境の工夫（体力すてっぷカードによる表彰） 			
体力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・長なわチャレンジ 区目標記録 平均70%以上達成 ・6月実施の体力調査の課題種目を伸ばす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・長なわ記録会・短なわ週間 ・持久走週間、記録会 ・「パワーアップカード」「運動すてっぷカード」による家庭との連携 ・投げ方教室による投力向上 ・走り方教室による走力向上 			
食育・保健指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・「健康に気を付けて生活できた」 児ア 95% ・給食残菜率 0.8% ・ベジファースト実施率 児ア 90% 	<ul style="list-style-type: none"> ・健診時の養護教諭保健指導、給食時の栄養士食育指導 ・セレクト給食、リクエスト給食、行事給食等の実施 ・世界の貧困や飢餓状況等を学ぶ ・食育授業、最初に食べるとよいメニューの紹介 			

6 まとめ

(1) 今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性

ア 学力向上アクションプランについて イ 豊かな人間性の育成について ウ たくましい体の育成

(2) 保護者や地域へのメッセージ (3) その他（学校教育活動全般について）